

ペタンカリング (簡易ポッチャ/ペタンク)

プログラムの概要・ねらい

自然の家オリジナル「簡易ペタンク」。
ペタンクは、ボールを投げ、「目標球」にどれだけ近づけるかを競う球技。助走なしでボールを投げるので、誰でも一緒に楽しめます。ペタンカリング器材は、簡易的なポッチャ器材としても使用できます。

場所	プレイホール、集いのホール、学習室 AB		
時間			
値段	無料		
季節	年間	人数	1ゲーム最大12人
準備物	<p>【利用者】 体育館履き（プレイホール実施の場合）、スポーツに適した服装、救急用品、得点記入用紙・筆記用具</p> <p>【自然の家】 ペタンカリングセット（最大3セット）、フラフープ ※数量については要確認</p>		

①準備

サービスセンター受付でプレイホール倉庫の鍵を受け取り、事前に室内用ペタンカリングセット、フラフープを準備する。ペタンカリングセット内容：ボール4色×12個、目標2（サイコロ型1、球1：状況により使い分け）
※目標は、ペタンクやポッチャルールで使用する
（使用するボールは、室内ペタンクやポッチャで使用されるボールよりも若干軽い専用ボールです）

②実施の流れ

・ゲームを実施する前に準備運動を十分に行う。

●ゲームの方法

例：簡易ペタンクルール（…ポッチャルールを使用した活動も可）

・1チームの人数は最大で6人で実施することが出来る。

コート：先攻のチームの第1投者が、フラフープの中から「目標」1個を投げる。

※先攻後攻は、ジャンケン等で決める。

※目標はあまり遠くに投げないよう注意。（小学生：5m～程度）

※プレイホール半面で3コート程度実施することが可能。

競技方法：1ゲーム：3セット

- 先攻チームの選手はなるべく目標の近くに止まるように、第1投目を投げる。順番は各チームで決めてよい。
※安全面注意：投げる方向に人がいないかを確認する。
- 次に後攻のチームが第1投目を投げる。
- 両チームがそれぞれ1球ずつ投げた後で、どちらのボールが目標に近いかを見る。
- 第2投目以降は、目標より遠いチームから投球を行う。
- 両チームとも全てのボールを投げ終わってから得点を数えて1セット終了。
※テクニックとして、投げたボールで目標や他のボールを弾いても可。

●勝敗と得点の数え方

例①：目標に一番近くボールを配置させたチームが勝ち。

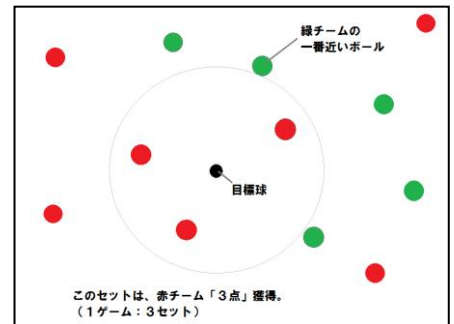
例②右上図参照：ポイントは、負けたチームのボールのうち、目標に一番近いボールより、さらに目標に近い同チーム（勝ったチーム）のボールの数とする。

- 勝ったチームが目標を投げ直し、次のセットを始める。
3セット終了時、ポイントを多くとっているチームの勝ちとなる。

例：簡易カーリングルール

- 養生テープ等で動かせない目標を設定し、ボールが目標の近くに止まるように投げる。
以降、ペタンクルールと同じ

（参考：NPO 法人 日本ペタンク協会、一般社団法人 日本ポッチャ協会、公益社団法人 日本カーリング協会）



③後片付け

備え付けの掃除用具で、プレイホールの床をモップがけする。
使用した器具や用具を倉庫の元の場所へ片付ける。
倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。
器具や用具に破損や故障があった場合は、サービスセンター受付に申し出る。